

富士市地域防災無線システム完成

富士市は、災害時の情報伝達網を拡充するため、携帯電話と同じように使える新方式の地域防災無線システムを導入しました。

このシステムの完成により、災害発生時に電話網が寸断された場合でも、市内に200台配備した地域防災無線機を使用して、さまざまな情報をいち早く収集・伝達できるようになります。

災害時に最も重要なことは、正確で迅速な情報収集と伝達です。市を中心に防災関係機関などと連絡体制を確立し、災害に強いまちづくりを実現していきます。

システムの概要

▶ 基地局 (市役所)



◀ 中継局 (広見公園内)



▶ 携帯型無線機



一般局配備先

庁舎内及び出先機関	41台
公民館	21台
学校などの避難場所	45台
救護病院	6台
消防、消防団	71台
防災関係機関	12台
生活関連機関など	4台
合計	200台

◀ 車載型無線機



富士市地域防災無線 システムの特徴

7 新システムの一番の特徴は、従来の「こちら対策本部、〇〇どろぞろ」の交互の単信通話から、「もしもし、対策本部です」のような電話と同様の同時送受話方式になり操作が簡単。

2 同時送受話の特徴を生かし、無線機と市役所の内線電話を接続し、電話機と地域防災無線局の間で直接通話できるシステムになっている。

3 電波が届きにくい場合は、自動的に広見公園内の中継局を経由し、市内どこにいても、すべての無線機と通話が可能。

4 平常時には三十回線、非常時には六十回線が使用でき、たくさんの情報のやりとりが一度にできる。

市民が安心して暮らせる、災害に強い、安全なまちを目指していきます。

問い合わせ
防災対策課 内線2776